

新本部開設記念特集号

東京都産業労働局長挨拶

理事長挨拶

新本部のご紹介

ものづくり産業の総合的支援拠点「開設」

新本部フロアおよび新事業の概要

高度分析開発セクター

システムデザインセクター

実証試験セクター

多摩テクノ広場

濃色生地対応型インクジェットプリントシステム

Information

第14回「産業交流展2011」出展・新本部見学ツアー

「2011年東京都ベンチャー技術大賞」表彰式

「東京デザインマーケット」開催

「2011国際ロボット展」出展・新本部見学会

「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2011」出展

新本部避難訓練の実施報告

新本部のご利用方法・アクセス

本誌はインターネットでも閲覧できます。 <http://www.iri-tokyo.jp> をご覧ください。



地方独立行政法人

東京都立産業技術研究センター

東京都産業労働局長挨拶



東京都

産業労働局長 前田 信弘



このたび、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが、10月3日から新本部での業務を開始するに当たり、これまで当施設の整備に携わってこられた関係者の皆様方のご尽力、ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

この新本部の建設は、中小企業の皆様の高度化・多様化する技術支援ニーズにお応えするために、東京都が産業支援拠点再整備事業として進めてきたものです。当施設は、都立産業技術研究センターの機能を強化・拡充し、より幅広い技術課題の解決に貢献する、総合的な支援拠点と位置付けて整備いたしました。新たに導入した機器や設備をはじめ、都立産業技術研究センターが展開する様々な支援サービスを、是非、ご利用いただきたいと存じます。

申し上げるまでもなく、経済がグローバル化するとともに国内産業の構造が変化する中で企業競争力を高めていくためには、技術革新や新事業の創出に取り組み、付加価値の高いものづくりやサービス提供を行っていくことが重要です。そのため、東京都では、「知財戦略導入支援事業」「都市課題解決のための技術戦略プログラム事業」「オープンイノベーション促進助成事業」など、技術力を活かして新製品・新技術開発や事業化に取り組まれる中小企業の方々への支援策を、充実させてまいりました。

今後とも、都立産業技術研究センターと連携して、こうした取組を推進し、中小企業支援に万全を期してまいります所存です。

最後に、皆様の益々のご活躍、ご発展を祈念いたしまして、新本部開設に寄せての挨拶とさせていただきます。

ものづくり産業の総合的支援拠点「開設」

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター

理事長 片岡 正俊



東京都立産業技術研究センター(都産技研)は、都内の中小企業の技術支援を行う機関です。平成22年度には約6,400社の中小企業にご利用いただき、依頼試験100千件、機器利用44千件、技術相談92千件の実績をあげております。

また、3月の東日本大震災に対応した復興支援事業として、放射線測定支援、省エネ節電技術支援、さらには被災地企業への料金減免などを実施しておりますので、ますますのご活用をお願いいたします。

さて、このたび東京都の産業支援拠点再整備事業の一環として、臨海副都心に新たな本部を開設することになりました。ますます厳しくなる経済情勢のもと、従来以上に中小企業の技術支援を拡充する予定です。東京の中小企業が大企業の下請けとして生き残るのはもはや難しく、これからは高付加価値の先端製品を自前で開発し、ビジネスを展開していく必要があります。この新本部では、こうした開発型の中小企業を支援するべく、3つの技術支援セクター、「高度分析開発セクター」、「システムデザインセクター」、「実証試験セクター」を開設します。さらには、24時間利用可能な製品開発支援ラボも多数設置いたします。また、研究開発面からの支援として、4つの成長分野、「環境・省エネルギー」、「EMC・半導体」、「メカトロニクス」、「バイオ応用」の研究開発に重点的に取り組み、成果を中小企業に還元してまいります。



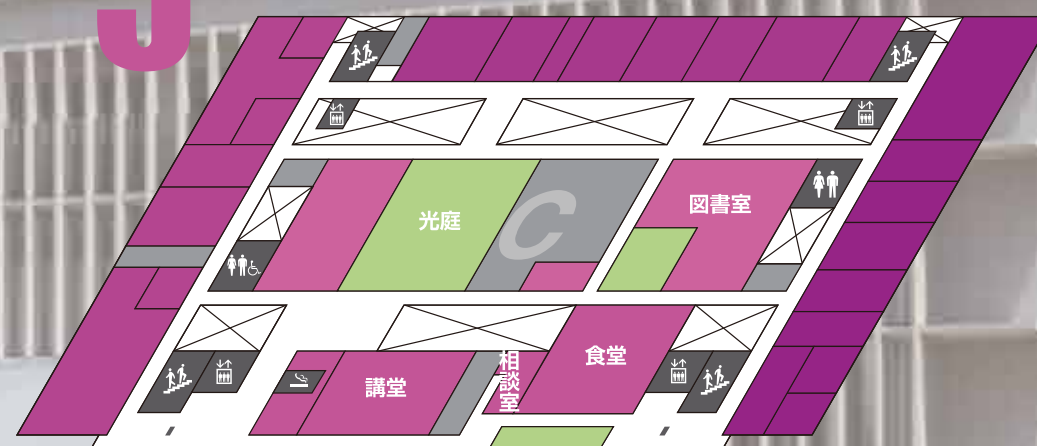
都産技研はこうした高い技術力で、プロダクトイノベーションの発信拠点として、ものづくり産業を中心にサービス産業等ものづくり関連産業の中小企業支援も拡充してまいります。従来にも増して、多くの中小企業の皆様のご利用をお待ちしております。

新本部フロアおよび新事業の概要

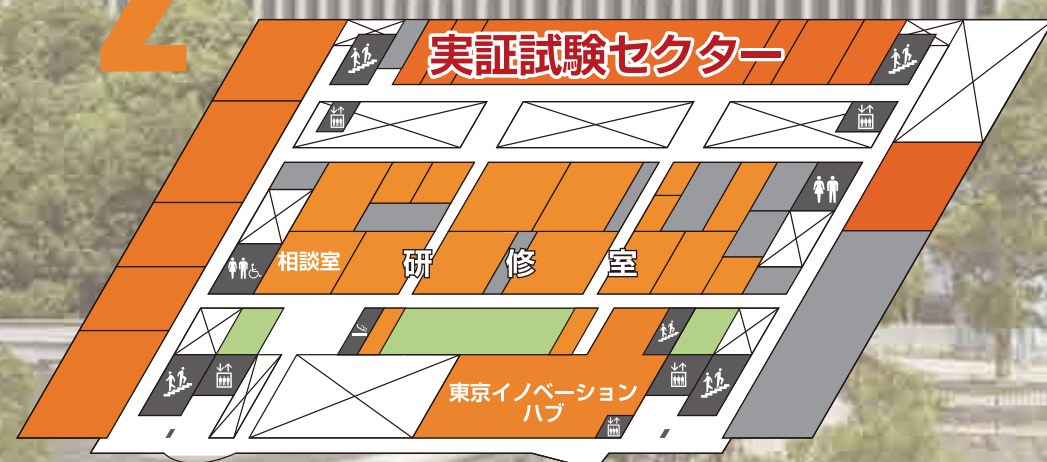
3



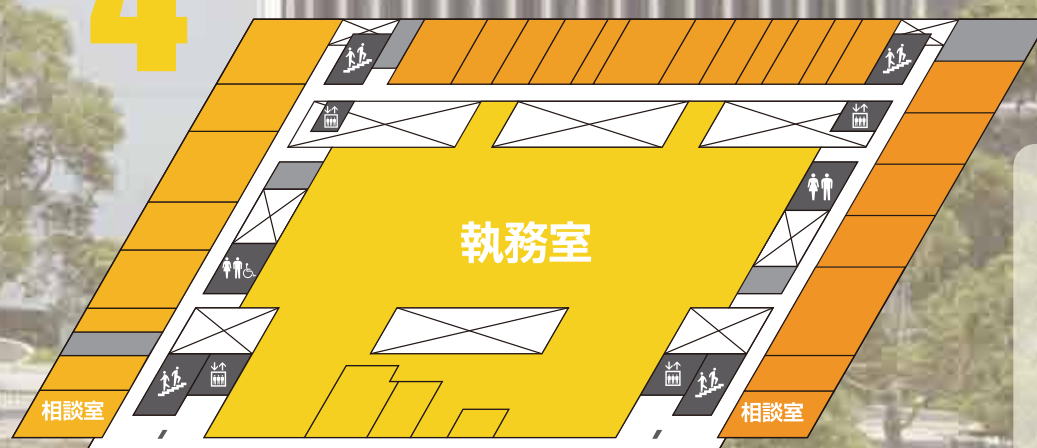
5



2



4



1



【新事業の概要】

- 高度な技術ニーズに対応する「高度分析開発セクター」、売れるデザインブランドを確立し、設計・試作から評価まで総合的に支援する「システムデザインセクター」、評価試験機器を集約し、ワンストップの技術支援サービスを提供する「実証試験セクター」の3セクターにより製品開発支援を拡充します。
- 「環境・省エネルギー」「EMC・半導体」「メカトロニクス」「バイオ応用」の4つの技術分野に対し集中的に技術支援し、新規産業の育成を図ります。
- 既存の技術分野にも、新たな機器・設備を導入し、依頼試験・機器利用などの事業を強化します。
- 製品開発支援ラボは、18室設置し、24時間利用を可能としました。また、共有で利用できる実験室や加工室を設置し、ラボマネージャーを配置するなどサービス面の向上を図りました。
- 東京イノベーションハブを中小企業の交流支援の場として設置しました。

高度分析開発セクター

～高度な技術開発・課題解決支援～

高度先端的な装置を集中配置し、皆様に活用いただくことで、中小企業による、より高度な製品開発・技術開発を手助けしていきます。

新たに発足した高度分析開発セクターでは、一般にはなかなか設備できない高度先端的な装置を集中配置し、中小企業による高度な研究開発・技術課題の解決や高機能・高精度なもののづくりを支援します。表面・微小領域の観察や分析並びに物質の構造解析などを行う化学計測分野、高精度な形状計測を行う精密測定分野を担当します。

【開発支援ターゲット】

- ・機能性材料開発支援
超微細加工による機能性の付与や、高機能材料の開発を支援します。
- ・環境対応製品開発支援
海外規格に対応した環境負荷の少ない製品開発を支援します。
- ・高精度加工製品開発支援
複雑な製品形状を精密に測定することにより、高精度な製品開発を支援します。
- ・高品質製品開発支援
不具合等の原因解明を支援します。

高度先端的な装置

化学計測分野および精密測定分野の主な測定装置を紹介します。

- ・化学計測分野



核磁気共鳴分析装置



ICP質量分析装置



透過型電子顕微鏡



X線回折装置

- ・精密測定分野



三次元座標測定機



画像測定機



白色干渉計

このほかにもいろいろな機能を持った装置を設置しました。「こんなことが知りたい。」「こんなことができないの？」など、これらの装置に興味を持っていただけましたらお問い合わせください。高度分析開発セクターは、皆様と一緒に考えて、歩んでいきたいと思っています。皆様のご利用をお待ちしています。

事業化支援本部 高度分析開発セクター

TEL 03-5530-2150

E-mail : koudo@iri-tokyo.jp

システムデザインセクター

～デザイン活用によるものづくりの総合的支援～

製品のものづくりには、ユーザーのニーズに合った性能や機能を満足させること、高安全性や高信頼性、長寿命であることとともに、機械と人間の親和性が高いことが求められます。システムデザインセクターでは、『売れるデザインブランドの確立～製品設計、試作モデルの製作までの総合的な支援』を目指し、デザインの活用によるものづくりを総合的に支援していきます。

商品企画・デザイン

「売れるデザインブランド」の確立支援を強化します。新たに設置する創作実験ギャラリーを活用し、企画・マーケティングから販売促進までの支援を拡充します。

●デザイン実践セミナー

ワークショップ形式による人材育成セミナーとして、商品企画基礎講座、販売促進企画講座などを開催します。



製品設計・試作モデルの製作

3次元デジタルエンジニアリングを駆使して、製品の測定・設計・解析・試作品作製を総合的に支援します。誰でも利用可能な3次元CADや構造解析CAEなどのソフトウェア、製品を立体的に形状測定できる高精度3次元

デジタイザや内部構造を測定可能なCTスキャナ、さらに3次元データを基に試作品を作製可能な高速造形機（RP装置）など、『ものづくり』に有用な設備を集約し、一貫性の高い総合的な製品設計支援を展開していきます。

●各種講習会

3Dモデリングシステム入門、3Dデジタイザ活用講座、CAEによる構造解析入門などの各種講習会を開催いたします。

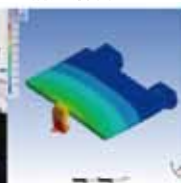
■高精度3次元
デジタイザ



■3次元CAD



■構造解析CAE



■高速造形機（ナイロン粉末）



■撮影スタジオ機材



■各種プリンター



皆様のご利用をお待ちしています。

事業化支援本部 システムデザインセクター

TEL 03-5530-2180

実証試験セクター

～ワンストップの技術支援サービスを提供～

高品質・高性能な製品開発には、信頼性評価、故障解析、動作解析や環境試験等が不可欠です。こうしたものづくりを支えるために、環境試験、電気・温度試験、製品・材料試験を一貫して行い、ワンストップの技術支援サービスを提供していきます。

新事業、実証試験セクター

中小企業において、部品から製品に至るまでのものづくりには高品質、高信頼性、安全性が求められています。それを支える実証試験には、多岐にわたる評価試験機が必要です。それらを集約し、集中的に配置しました。製品開発・評価、製品トラブル等の技術相談に的確に対応し、課題解決支援をスムーズに行います。



図1 実証試験セクター受付窓口

環境試験

環境試験では試験時間が長くなるものが多く、試験条件の設定や試験後の評価に専門的な知識と経験が必要です。製品の安全性・信頼性のため、振動試験、衝撃試験、耐ノイズ試験、温湿度試験、動作試験、塗装やめっき等の腐食劣化試験を一貫して行えるようにし、相談、試験、機器利用等のサービスをワンストップで提供できるようにしました。(図2～5)

電気・温度試験

電気・温度試験は、電気（直流・低周波）、温度（熱電対）において国際規格であるISO/IEC17025に準拠した品質システムに基づき行っています。(図6, 7)

製品・材料強度試験

製品・材料強度試験は、2～3000 kNの万能試験機を設置し、幅広いご要望に対応します。また、ネジの締付特性等、ねじり強度に関する試験も行います。(図8, 9)



図2 冷熱衝撃試験機



図3 恒温恒湿室



図4 インパルス試験機



図5 振動試験機



図6 直流電圧発生装置



図7 熱電対自動校正装置



図8 3000kN
万能試験機



図9 3000N・m
ねじり試験機

皆様のご利用をお待ちしています。

事業化支援本部 実証試験セクター

TEL 03-5530-5530

濃色生地対応型 インクジェットプリントシステム

多摩テクノプラザでは、ご要望の多かった濃色生地にも対応できるプリントシステムを導入しました。従来の生地用プリンターとあわせて、Tシャツなどのサンプル品作製にぜひお役立てください。

はじめに

TIRI News2008年3月号で「繊維製品用インクジェットシステム（マスターマインド社製、MMP844hm）」を紹介しました(都産技研ホームページ参照)。このシステムは、お客様がご自身で操作できる大型プリンターとして、大変好評をいただいています。

今回新たに、あらかじめ濃色に染められた生地にもプリント可能なシステム（図1）を導入しましたので紹介します。

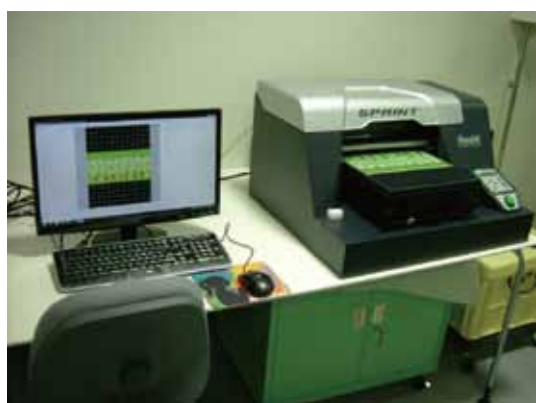


図1 濃色生地対応型プリンター

新システムの特徴

- 1)カラーインクの他に白インクを搭載しており、白い模様の表現ができます。
- 2)白インクをプリントした上にカラーインクを載せることができ、下地の色に紛れないカラー表現ができます（図2）。



図2 インクジェットプリント例
はじめに白インクでプリントし(左側)、
その上にカラーインクでプリント(右側)

- 3)カラーインクのみ使用する場合は、通常必要な前処理工程を省略できます。

主な仕様

- 1)アナジェットインク社(アメリカ)製
SPRINT SP200
- 2)インク：顔料(白・赤・青・黄・黒)
- 3)繊維素材：綿および綿ポリエステル混
(綿50%以上)
- 4)最大印刷寸法：約300×400mm (A3)
- 5)データ処理部
 - ・OS：Windows 7
 - ・専用ソフト使用
 - ファイル形式：png または tif
 - 画像解像度：200dpi以下
 - モード：RGBカラー 8bit/チャンネル



図3 Tシャツプリント例

ご利用にあたって

新システムは従来機と同様、お客様ご自身で操作することができます。利用料(中小企業)は1時間あたり1,030円、出力費は白インクが480円/枚、カラーインクが220円/枚です。初めて利用される際には、職員が取り扱い方法等についてご説明いたします(30分ごとに1,080円)。

なお、専用前処理剤および後処理に必要な熱プレス機も揃えています。詳細は担当職員にご相談ください。

繊維・化学グループ <多摩テクノプラザ>

木村 千明 TEL 042-500-1246

E-mail: kimura.chiaki@iri-tokyo.jp

第14回「産業交流展2011」出展

＜日時＞ 平成23年10月26日(水)～28日(金) 10:00～17:00

＜会場＞ 東京ビッグサイト 東5・6ホール
〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1

展示会についてのお問合せ

産業交流展2011運営事務局 Tel: 03-3503-7320 Fax: 03-3503-7620

「東京都立産業技術研究センター新本部見学ツアー」同時開催

日時：平成23年10月26日(水)～28日(金) 11:00～18:00

見学回数・時間：1日4回、約1時間

交通手段：東京ビッグサイト～新本部間で無料送迎バス運行（都産技研新本部への直接来所可）

申込：都産技研ホームページまたはFAX

産業交流展2011会場（首都圏テクノネットワークゾーン）での当日受付あり

定員：各回24名

※詳しくは都産技研ホームページ イベントスケジュールをご覧ください。

<http://www.iri-tokyo.jp/joho/event/index.html>

■お問合せ：経営企画部広報室 TEL:03-5530-2521

無 料

「2011年 東京都ベンチャー技術大賞」表彰式

「東京都ベンチャー技術大賞」では、東京都知事が、ベンチャースピリットに富む中小企業が開発した、革新的で将来性のある製品・技術を表彰します。

■日時：平成23年10月26日(水)11:00～11:30(第14回「産業交流展2011」会場にて開催)

■場所：東京ビッグサイト 東5・6ホール

■事業概要・過去の受賞企業一覧

詳しくは東京都産業労働局商工部ホームページ ベンチャー技術大賞をご覧ください。

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/sogyo/venture/venture.html>

■お問合せ：東京都産業労働局商工部創業支援課

TEL:03-5320-4763 E-mail:s0000474@section.metro.tokyo.jp

「東京デザインマーケット」開催

「東京デザインマーケット」とは、中小企業とデザイナーのための出会いと商談の場です。過去7回の開催で、企業とデザイナーの間で多くの商談が成立し、商品化にも結びついています。今年度は、10月26日から28日まで東京ビッグサイト東5ホールで開催します（「産業交流展2011」と同時開催）。

■詳細：詳しくは東京デザインマーケットホームページをご覧ください。

<http://www.tokyo-design-market.jp/>

■お問合せ：（公財）日本デザイン振興会 TEL:03-6743-3777

東京都産業労働局商工部創業支援課 TEL:03-5320-4749

「2011 国際ロボット展」 出展

<日時> 平成23年11月9日(水)～12日(土) 10:00～17:00

<会場> 東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1

展示会についてのお問合せ

「2011国際ロボット展」事務局 Tel:03-5644-7221 Fax:03-5641-8321

「東京都立産業技術研究センター新本部見学会」 同時開催

日 程：平成23年11月11日(金)

時 間：第1回 13:00集合、14:30解散 第2回 15:00集合、16:30解散

交 通：東京ビッグサイトと新本部間に無料送迎バス運行

申 込：専用ホームページによる事前申込制 ※詳しくは都産技研ホームページで追ってお知らせします。

定 員：各回20名

※詳しくは都産技研ホームページ イベントスケジュールをご覧ください。

<http://www.iri-tokyo.jp/joho/event/index.html>

■お問合せ：経営企画部広報室 TEL:03-5530-2521

無 料

「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展 2011」 出展

東京は 中小企業が元気にする ～一歩がっつく大きな未来～

<日時> 平成23年11月2日(水) 10:00～17:00

<会場> 東京国際フォーラム 展示ホール

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1

<内容> ・漆と間伐材の木粉からつくった世界発100%バイオマス
成形材料(サスティモ)の製品の展示
・ベッ甲業界初の試みであるベッ甲のランプシェードの展示

※詳しくは都産技研ホームページ イベントスケジュールをご覧ください。

<http://www.iri-tokyo.jp/joho/event/index.html>

■お問合せ：経営企画部広報室 TEL:03-5530-2521

新本部避難訓練の実施報告

9月9日(金)、新本部で初めての避難訓練を実施しました。今回の訓練は施設内の火災を想定したもので、各フロアの一番近い階段から1階正面にすみやかに避難し、身の安全を確保するというものでした。訓練の最後に、理事長より①落ち着いて行動すること。②ひとりで逃げないこと。③いかなる場合でも正しい判断や行動を行えるよう、日頃から体にしみこませておくこと、という避難する際の3つの心得について話がありました。

東日本大震災以降、防災への意識が高まっています。都産技研も今まで以上にお客様と職員の安全・安心を第一に考え、体制を整えてまいります。



ご利用方法・アクセス

事前にお問合せを

ご来所の際は、まず1階の総合受付で入館手続きをお願いします。初めてご利用のお客様には、「ご利用カード」発行の手続きをいたします。既に「ご利用カード」をお持ちのお客様は、カードのご提示をお願いします。

予約をされているお客様は、担当者に取り次ぎをいたします。依頼試験、機器利用のご案内や技術相談等については、1階総合支援窓口でお受けします。なお、対応に万全を期するため、事前にお問い合わせいただき、お客様のご要望の試験が可能であるか、相談したい技術分野に対応できるかをご確認いただければ幸いです。



ご利用カード

●お問合せ

技術経営支援室 総合支援窓口
TEL 03-5530-2140
E-mail:sodan@iri-tokyo.jp

受付時間

9:00~17:00

(土、日、祝日、12月29日~1月3日を除く)

アクセス

住 所：〒135-0064 江東区青海2-4-10 TEL：03-5530-2111（代表）

電車

- 新交通ゆりかもめ
「テレコムセンター」駅前
- りんかい線
「東京テレポート」駅から
徒歩15分
※駅から無料送迎バスあり

車

- 都心方面より
首都高速11号台場線
台場出口より約2km
- 大田、品川方面より
首都高速湾岸線
臨海副都心出口より約1km
- 江戸川、葛飾方面より
首都高速湾岸線
有明出口より約3km

